

TRAINING COURSE INFORMATION

NPO 日本サプリメント協会

サプリメント指導士

第1期

養成講座のご案内

第1期生募集!

資格は取るだけでは意味がない。

使える内容でなくてはならない。使える機会がなくてはならない。

日本を代表する講師陣が、
対面ゼミナール方式で指導する実践型・養成講座。

第1期 サプリメント指導士養成講座 開講にあたって

趣 旨

厚生労働省が提唱するプライマリーヘルスケアを国民にアドバイスするアドバイザースタッフは民間認定資格としていくつか存在している。しかし、認定団体の多くは認定のみを行い、認定後のスキルアップや実践の場を提供していない。

あるいは認定資格を取得しても、その知識や情報が現場に即したものでないために、実践で活用できないというものも多い。

こうした状況を鑑み、当協会では生活者のニーズに即した知識や情報の提供のあり方、疾病の予防やオプティマムヘルスのための適切で具体的なアドバイスやカウンセリングのためのスキルの提供、現場からの情報や意見を交換できる交流の場の提供などを行い、NPOの社会貢献活動の一翼として、広く国民のヘルスケアの手助けを行うものである。

養成講座の特徴

定員50名のゼミナール方式

通信講座ではできない双方向のコミュニケーション
受講時の質疑応答や、受講後のフォローなど、受講者への個別対応が可能
受講者個々人の要求や問題に対応したきめ細かな指導の必要性を認め、双方向性のある関係性を構築するため、1期につき50名程度の定員制とする。

現場に対応した実践的知識に重点

基礎知識に実践応用編を加え、現場で使える知識と情報を重視
製品情報や消費者ニーズなど、協会の有するタイムリーな情報の共有
一般的な知識の習得に加え、現場でのカウンセリング方法や、新素材・新製品情報、マーケット情報など、市場や消費者ニーズを捉えたより実践的知識の必要性を認め、それに応えるべく講座内容や講師陣に配慮し、また協会の取材や調査による情報の提供を行い、現場で活かせる知識を習得することに重きを置く。

知識を活かせる機会の提供

適材適所の人材派遣を、協会ネットワークにより支援
取得した資格を活かせる、指導士への職場の情報提供、あるいは協会主催のセミナーや販売店における資格活用場の提供、また、資格者を求める求職者への情報提供などを行う。

認定後のスキルアップ

協会・指導士間の情報交流をサポートし、認定後のスキルアップを図る
協会本部がコア・ステーションとして常にアドバイザー間の情報交流を行い、現場における諸問題へのサポートを行い、アドバイスの質の向上を図る。また、定期・不定期のフォローアップセミナーにより、最新の情報を共有する。

日本を代表する講師陣が、
対面ゼミナール方式で
専門講座を受け持ちます。



常津良一

常津三敬病院名誉院長

東京大学医学部卒業後、東京大学第三外科、都立駒込病院外科医長などを経て、常津三敬病院を設立。また、2004年1月からは、ホリスティック医学を実践する。常津三敬塾クリニックを新設し、同院長に就任。代替医療への造詣が深く、医療の東西融合という新機軸を基に、ホリスティックなアプローチによるガン治療を専門領域としている。「気功」の指導にも力を注ぎ、講演会も精力的にこなす。



五十嵐脩

茨城キリスト教大学教授、お茶の水女子大学名誉教授

東京大学大学院化学系研究科修了。お茶の水大学教授、同大学生生活環境研究センター長を経て現職に。主に必須脂肪酸の代謝や体内での生理作用について研究を行ってきたが、食品の機能性全般について造詣が深い。



川嶋 朗

東京女子医科大学附属青山自然医療研究所 助教授

北海道大学医学部卒業。東京女子医科大学第4内科入局。1993年～1995年 Harvard Medical School&Massachusetts General Hospital留学。東京女子医科大学腎臓病総合医療センター、成人医学センターを経て現在に至る。腎臓病の専門医だが、近代西洋医学と代替・相補・伝統医療を統合した医療を実践している。ダイエットからうつ病やガンまで、幅広い治療に取り組む。



板倉弘重

茨城キリスト教大学教授、元国立健康・栄養研究所臨床栄養部長

東京大学医学部卒業。カリフォルニア大学心臓血管研究所に留学。東大医学部助手、国立健康・栄養研究所臨床栄養部長を経て名誉所員。食生活の重要性を広く提唱するとともに、栄養素の不足を補うサプリメントの有効利用を啓発する。コレステロール研究の第一人者。



中嶋 茂

食と効能普及全国会議議長、元厚生省、農林水産省

鹿児島大学大学院（食品科学専攻、農学修士）、厚生省入省。食品関連法令等の作成、諸基準設定、健康食品問題、機能性食品対策等に携わる。その後、農林水産省へ出向、ダイオキシン問題、クローン牛問題等を担当。現在、食の効能普及全国会議議長、食の効能評価学術研究会専務理事、日本サプリメント協会理事等。

早川明夫
(株)皇漢薬品研究所
学術調査室

浜田 璋子
笹塚クリニック主席研究員

山口宏二
東京海洋大学
海洋科学技術研究科
客員助教授

黒川貞生
明治学院大学助教授

高橋佳璃奈
(有)ビューティーライフ研究所
代表取締役

木原健一郎
経営コンサルタント

溝口 徹
新宿溝口クリニック院長

板村 論子
常津三敬塾クリニック院長
皮膚科専門医

後藤典子
日本サプリメント協会
代表理事

第1期
サプリメント指導士
養成講座
募集要項

■募集人員

認定コース 50名

■対象者

- ・健康と栄養に興味をお持ちで、将来、関連業務に従事することを希望する方
- ・民間認定団体より認定を受けた資格を有する方
- ・管理栄養士、栄養士、薬剤師、保健師、助産師、看護師、臨床検査技師、医師、歯科医師などの資格を有する方
- ・治療院、エステ、スポーツ関連など、健康維持・増進に関わりのある業務に従事する方
- ・製薬・食品メーカーにて、製造・開発・販売に従事する方
- ・協会理事会が受講能力を有すると認めた者

■講座開催期間

11月5日(土)より毎月2回の土曜日
3月4日(土)までの9日間／18講座

■開催場所

東京都中央区京橋一丁目15番1号 味の素(株)内、講演会場
(交通最寄り駅)

JR「東京駅」八重洲中央口(徒歩10分)
地下鉄銀座線「京橋駅」6番出口(徒歩5分)
都営地下鉄「宝町駅」A-2出口(徒歩3分)
地下鉄日比谷線「八丁堀駅」北口(徒歩10分)

■申し込み受付

本パンフレットに添付の申し込み書を協会事務局宛、ファックスまたは郵送。
日本サプリメント協会ホームページ <http://www.j-sup.com>の「申し込みフォーム」からでもお申し込みいただけます。

■締め切り

申し込み締め切り日時／10月29日(募集定員になり次第締め切り)
オリエンテーションにて、講座説明資料などお渡しいたします。また、当日受講票用に写真を2枚(たて3cm×よこ2.5cm)ご用意下さい。

■受講料

18回の受講料として96,000円(含む消費税)
内訳／受講料、18講座テキスト、サブテキスト「サプリメント健康バイブル」
但し、講師が選定する参考書については、別途お求めいただきます。
※単講座への参加も受け付けています。3日前までに、お申し込みが必要です。
受講料は当日受付にて受領致します。〔受講料〕1講座あたり6,500円(含む消費税) サブテキスト「サプリメント健康バイブル」1,500円

■支払い方法

郵便振替 口座記号番号 00160-9-549620
加入者名 NPO日本サプリメント協会

みずほ銀行 青山支店(支店コード211)
普通口座 3159473
名義 日本サプリメント協会

※入金確認締め切り 11月4日
※お振込み規定(振込金、返金不可)
※二回分割払いも受付けますので、お問い合わせ下さい。